

第1回定例会 一般質問

区政をただす

無電柱化を積極的に進めよ



公明党議員団 大泉 正勝

防災対策やバリアフリー化推進のため、電線類の地中化を推進すべきと思うがどうか。

区長 駅周辺のバリアフリーを総合的・一体的に推進する重点整備地区を検討している。無電柱化の制約条件や財政的課題を整理し、関係機関と調整を図りたい。

事業部制予算の財政効果は

区政の目標体系の再構築と経営資源の効果的な投入・活用を目指して事業部制を導入したが、①16年度予算編成での経済性、効率性、効果性から見た具体的成果は。②歳入確保の見通しが不確実な事業への一般財源配当の保留や、予算執行管理への財政部門の助言を規定してはどうか。

区長 ①民間活力導入や職員配置・事業の見直しを徹底した。経費は抑制し、サービスを維持・向上させ、65の新規・拡充事業も予算化した。②歳入確保努力を義務付ける方法も、積極的に検討する。

生業資金を借り易い制度に

生業資金貸付制度を新しい

成について、子育て支援策としての、有効性や方法などを検討している。

基本構想、10か年計画の中で、子育てをめぐる地域社会全般

の支援のあり方などを検討し、総合的な対策を盛り込みたい。



電柱の無い道路

財政再建策を

具体的な数値で説明せよ



自由民主党・民社クラブ 篠 国昭

区長は、施政方針説明の中で、家族のあり方に言及しており、高く評価できる。伝統的な家族観の復活により、教育・社会問題の多くは、解決する。16年度は、基本構想が策定される。今こそ、新たな中野のまちの姿や共通目標を区民と共有する必要がある。

子どもを主人公とした家庭重視の保育行政を

区長は、16年度予算の区長の説明には、具体性がない。編成の視点は何か。職員削減の方法と、今後の職員数は、どう想定しているのか。

男女共同参画社会の形成が声高に強調され、政府は、働く母親に視点を置いた少子化対策を進めている。しかし、子どもが小さいうちは、一緒に過ごしたいというのが、女性の自然な思いである。子どもが育つ基本単位は家庭である。その家庭に



おokaあさんと公園で

置いた支援策こそ必要ではないか。少子化対策、子育て支援の将来展望は何か。

区長 家庭の子育て機能は、核家族化の進展

などにより、弱体化している。地域での子育て活動の育成や育児休業の促進などの取り組みを進めたい。

略づくりに理解を得たい。これにより、行政回収量は、減少できると考えている。

福祉や区民施設の委託化・民営化を進めるなどとなっている。①社会的弱者をはじめ、区民への責任は。②保育園を指定管理者に委託し、保育料も引き上げるなど、未来を担う子ども達と子育て世代への責任は。

中野区では、町会をはじめ、区民の力を得て、清掃事業に前向きな取り組みを展開している。こうした努力が、清掃職員数の削減や民営化などに

男女混合名簿採用は、行き過ぎたジェンダーフリー教育、性差否定教育につながる。採用結果の検証に、しっかりと耳を傾けるべきではないか。

区長 ①まちづくりについては、将来の中野のまちをよりよいものにし、区民福祉を充実するために重要な課題が数多くあると考えている。予算が減った中でも、区民によりよいサービスを提供していくことを目指す。②将来にわたり安定的に保育サービスを提供し、拡充を図っていくには、民間でできるものは民間に任せ、財源確保のため適正な受益者負担が必要である。

国や東京都に対し

確固たる態度を示せ



日本共産党議員団 岩永 しほ子

①憲法擁護・非核都市を宣言している区として、イラクへの自衛隊の派兵が憲法違反であることを明白にすべきである。②「三位一体改革」の影響を、財政運営に適正に反映するとしていくが、区民に転化する考えを改めるべきでは。③国の一般財源化にあわせ、都は公立保育園補助金の独自の上乗せを廃止することにした。一方的補助金の削減を認めず、必要な財源を確保する姿勢をとるべきでは。

2004年度予算案では、将来のまちづくりのために大規模再開発に踏み出す一方、



憲法擁護・非核都市宣言

区長 ①国が法やしかるべき手続きにより、行っていることに、憲法違反かどうかを申し述

整備についてどう考えるのか。

区長 ①まちづくりには、まちなぎわいと環境の調和が必要で、政策や投資の循環を通じ、まちの活力を高める視点も大切にしてほしい。②道路整備の推進のため地域の実情

中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。是非ご利用ください。新しく「委員会資料」のページが追加され、各委員会に配付された資料がご覧いただけるようになりました。

中野区議会ホームページURL <http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>

まちの活力を高め 豊かなまちづくりを

TOKYO自民党中野区議団 伊東 しんじ



2004年度、学校選択制の準備予算が計上されているが、早急に導入する理由はどこにもない。子どもに不安を与え、区民の合意が形成されていない限り、導入への再検討をすべきではないのか。

教育長 教育内容の充実や質の向上、特色ある教育活動の推進、学校の活性化などを期待し導入しようとするものである。区民アンケートでは、多くの区民が何らかの変革を求めている。教育委員会では、学校選択制を実施すべきだと考えている。